

令和7年度（2025年度）

総合型選抜

学生募集要項

理工学部

- 出願期間 令和6年（2024年）9月2日（月）～9月6日（金）
- 試験期日 令和6年（2024年）9月25日（水）
- 合格発表 令和6年（2024年）11月1日（金）

不測の事態により、学生募集要項どおりに試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合は、試験の延期等の対応をとることがあります。

対応については、本学ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

大分大学ホームページ <https://www.oita-u.ac.jp/index.html>



令和6年（2024年）6月

目 次

	ページ
大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	1
大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	2
1. 募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 選抜方法等	8
4. 出願期間及び出願手続	10
5. 出願に必要な書類等	11
6. 受験票	12
7. 個人情報の取扱い	12
8. 障がいのある者等の事前相談	13
9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について	13
10. 受験に際しての注意事項	13
11. 試験場	14
12. 不正行為の取扱い	15
13. 合格者発表	15
14. 入学手続	15
15. 学校推薦型選抜及び一般選抜への出願	16
16. 入学試験個人成績の開示	16
17. 高大接続学習	17
18. その他	17
19. 大分大学学生寮のご案内（予告）	18

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 （出願登録期間の9：00～20：00）	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 （平日の9：00～17：00） E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー:AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<DX人材育成基盤プログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、新しい付加価値の創造を主導でき、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、個別学力検査（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム及び知能機械システムプログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テ

スト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト6教科8科目、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分		学力の3要素			求める資質・能力				
		知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 協働能力	数学・理 科の基礎 学力	知的好奇 心・志望 分野の課 題への興 味・意欲・ 関心・ね ばり強さ	自立的に 考え、か つ他者と 協同して 取り組む 姿勢	リーダー シップと 行動力を 発揮する 意志	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		個別学力検査(数・理)	○	◎		◎			
		特色加点			☆		☆	☆	☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		個別学力検査(面接 (口頭試問を含む))	○	◎	○	○	◎	○	○
	学校推薦型選抜Ⅰ	一般推薦 女子枠	基礎能力試験	◎	○		○		
面接(口頭試問を含 む)			○	○	○	○	◎	○	○
調査書・推薦書			○				○	○	○
サイエンス推薦		プレゼンテーション		◎		○		◎	
		面接(口頭試問を含 む)	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	一般推薦 女子枠	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		小論文	○	◎			○		
		面接	○	◎	○		◎	○	○
		調査書	○				○	○	○
総合型選抜		面接(筆記試験・小 論文・口頭試問を含 む)	○	○	○	○	◎	○	○
		自己推薦書		○			○		
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○
		調査書	○				○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解することが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情報：情報科学・情報技術に関する基礎的な理解力を身につけ、科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う意欲を持ち、情報社会に主体的に参画するための資質・能力が必要です。

1. 募集人員

学 科	プログラム	募集人員
理工学科	知能情報システムプログラム	5
	DX人材育成基盤プログラム	7
	電気エネルギー・電子工学プログラム	2
	機械工学プログラム	5
	知能機械システムプログラム	1
	地域環境科学プログラム	2
	建築学プログラム	4
合 計		26

【注1】 数理科学プログラム、物理学連携プログラム及び生命・物質化学プログラムでは募集しません。

【注2】 出身学校の課程・学科、履修科目と希望プログラムが整合しているかどうか疑問の場合は、事前に学生支援部入試課に申し出てください。

2. 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を令和7年（2025年）3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、令和6年（2024年）4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）
- (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (3) 次表の各プログラムの掲げる出願要件を満たす者

学 科	プログラム	出 願 要 件
理工学科	知能情報システムプログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀な者
	DX人材育成基盤プログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀な者
	電気エネルギー・電子工学プログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の電気又は電子に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀な者、又は特に物理が優秀な者

理工学科	機械工学プログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者
	知能機械システムプログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の機械系、電気系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、機械、電気に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀な者
	地域環境科学プログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の環境系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、環境又は土木に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者
	建築学プログラム	(1)本プログラムへの専攻の意志が強い者 (2)高等学校等の建築系又は土木系の学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし総合学科を卒業見込みの者については、建築又は土木に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む）者 (3)高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者

3. 選抜方法等

(1) 第1次選考

自己推薦書、調査書及び活動報告書により選考を行います。

自己推薦書及び調査書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて評価します。

活動報告書では、卒業制作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を評価します。

※選考結果については、通知書を本人宛に令和6年（2024年）9月19日（木）に発送します。

※第1次選考の合格者数の上限は、各プログラムとも募集人員の3倍程度とします。

(2) 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接で試問を行うとともにプログラムによっては基礎的な筆記試験を課します。面接は集団面接又は個人面接で行い、提出書類も参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解を評価するとともに積極性、自己表現力を評価します。また、志望するプログラムで必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する筆記試験又は試問も含まれます。なお、知能情報システムプログラム、DX人材育

成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、面接に先立って、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を行います。また、集団面接ではグループディスカッションは行いません。

各プログラムの内容は次表のとおりです。

学 科	プログラム	試験項目
理工学科	知能情報システムプログラム	面接と筆記試験
	DX人材育成基盤プログラム	面接と筆記試験
	電気エネルギー・電子工学プログラム	面接
	機械工学プログラム	面接
	知能機械システムプログラム	面接
	地域環境科学プログラム	面接と筆記試験
	建築学プログラム	面接と筆記試験

第2次選考試験日：令和6年（2024年）9月25日（水）

集合時刻及び集合場所：8：30に理工学部第1講義棟学生ラウンジ前に集合

プログラム	試験時間	試験項目
知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム	9：00～10：00	筆記試験
	10：30～	面接
電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム	9：00～	面接
地域環境科学プログラム	9：00～10：00	筆記試験
	10：30～	面接
建築学プログラム	9：00～10：30	筆記試験
	11：00～	面接

【注】遅刻による試験室への入室限度時刻は、筆記試験は試験開始後20分まで、面接は試験開始時刻までです。

配点は下記のとおりです。

自己推薦書	調査書	活動報告書	面接、筆記試験	合 計
50	50	150	250	500

4. 出願期間及び出願手続

総合型選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願とします。

出願に当たっては、下記①～④の全ての手続が必要です。いずれか1つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間：令和6年（2024年）9月2日（月）～9月6日（金）17：00まで（必着）

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは8月26日（月）から可能です（下記①～④）。

①インターネット出願ページにアクセス・入力・登録（一時保存可）

以下のURLからインターネット出願ページにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）このURLは本学ホームページからもリンクしています。

出願登録ページ <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、「一時保存する」ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。スマートフォンを利用するなど印刷ができない場合は、画面上で十分確認してください。

②入学検定料17,000円の支払い（別途払込手数料900円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続完了後は、登録内容の変更はできません。

③証明写真データのアップロード及び登録

④「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに出願書類送付

入学検定料のお支払い及び証明写真データの登録完了後に印刷が可能となりますので、インターネット出願システムからA4サイズの普通紙にカラー印刷し、「宛名ラベル」を市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、上記出願書類提出期間中に本学に到着するように「速達書留」で郵送してください。ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、9月6日（金）に限り持参を認めます。（受付時間は、9：00から17：00まで）

【注】出願書類提出期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

※インターネット出願登録ができる環境がない場合は、早めに学生支援部入試課にご相談ください。

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の9：00～20：00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日の9：00～17：00) E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 等

5. 出願に必要な書類等

(1) 出願書類等

書 類 等 名	内 容 等	
インターネット 登録・印刷 システムより	出 願 確 認 票 (提 出 用)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2.出願書類の郵送」の「No.1 出願確認票 (提出用)」をA4サイズの普通紙にカラー印刷し、提出してください。
	(証明写真データの 登録)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「写真の登録・確認」から、志願者本人の写真をアップロードし、登録してください。 ※写真は、100KB～5MBのjpg又はpngデータとし、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを登録してください(横に伸びたものなど、本人確認に適さない写真は登録しないでください)。
	宛 名 ラ ベ ル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No.3宛名ラベル」を印刷し、10ページの④のとおり貼り付けてください。
志願者が各自で 準備するもの	調 査 書	文部科学省所定の様式で、出身高等学校長等が令和6年(2024年)4月以降に作成し、厳封したもの。
	自 己 推 薦 書	志望理由と将来の希望について、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者が 自筆 で記入してください。
	活 動 報 告 書	高等学校等の内外で取り組んだことに関して、それによって得たこと、身についたこと、学んだこと等を評価します。具体的には、卒業制作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などについて、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、記入してください。記入に当たっては、活動等の内容がよく分かるようにし、その活動が団体である場合には、団体での自身の役割などが分かるようにしてください。
	教 科 ・ 科 目 単 位 修 得 状 況 証 明 書 (総 合 学 科 卒 業 見 込 み 者 の み)	本学ホームページより所定の様式をダウンロードして作成し、出身学校長等が証明したもの。該当する「工業、機械、電気、環境、建築又は土木に関する教科・科目」における学習内容を示したシラバス(若しくは相当するもの)を添付してください。(不明な場合には、出願前に学生支援部入試課まで問い合わせをしてください。)
	第 1 次 選 考 合 否 通 知 返 信 用 封 筒	市販の封筒(長形3号)に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 344円分の切手を貼って ください。
	入 学 検 定 料 (17,000円)	インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払いください。 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。 (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合(返還額:17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合(返還額:17,000円) (ウ) 第1段階選抜で不合格となった場合(返還額:13,000円) ※上記(ア)、(イ)に該当する場合は、12ページ「(4) 入学検定料の返還請求」を参照してください。 ※上記(ウ)に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。 災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課(TEL:097-554-7471)へ連絡してください。(13ページ参照)

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (イ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- (ウ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (エ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (オ) 改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合又は入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～⑥を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受領後、返還に必要な書類を送付します。

・ 入学検定料返還請求願に記載する事項

- ①整理番号、②氏名(フリガナ)、③郵便番号及び住所、④連絡先電話番号、⑤入試区分、⑥返還請求理由

・ 請求期限：令和6年(2024年)10月18日(金)

・ 請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

6. 受験票

受験票は、第1次選考結果到着後、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から第1次選考合格者自身でA4サイズ普通紙にカラー印刷して第2次選考当日に持参してください。

7. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学金・授業料免除(猶予)、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

令和6年(2024年)8月21日(水)17:00までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。

申出期間経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

(2) 申出方法

本学ホームページより「令和7年度(2025年度)大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

災害に関する特別措置(入学検定料等)につきましては、本学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>)でお知らせします。

10. 受験に際しての注意事項

(1) 9ページに掲載している集合時刻までに集合場所に集合し、入室後は監督者の指示に従ってください。

(2) 試験中は、本学受験票を必ず机の上に置いてください。

(3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、計時機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)、目薬以外のものを机の上に置かないでください。なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。

(4) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。

(5) 試験当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって試験場に到着するようにしてください。

(6) 携帯電話等の電子機器類の使用について

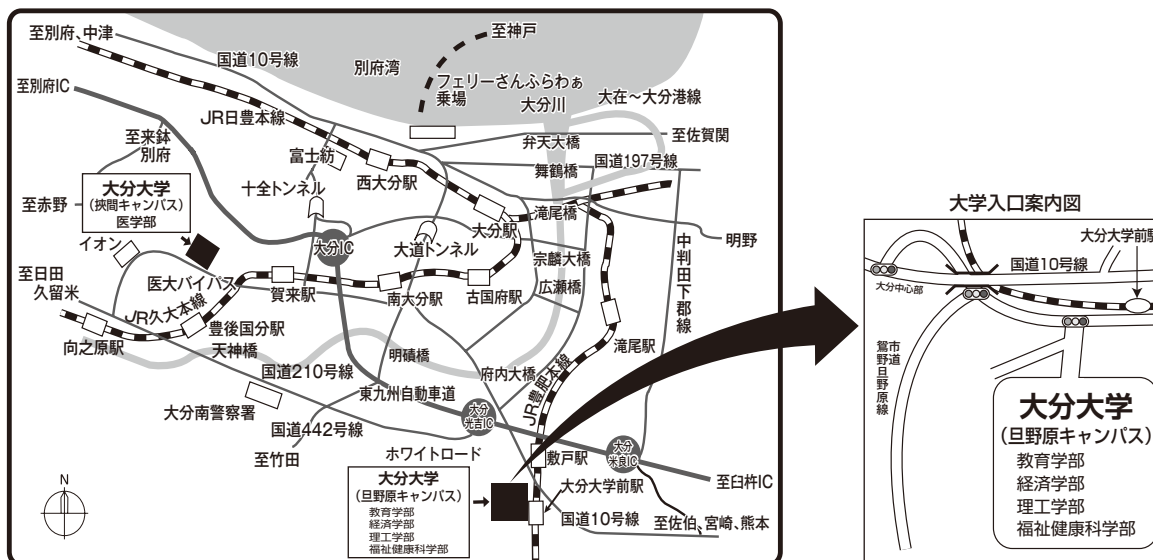
- ・試験室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
- ・試験時間中は、時計代わりに携帯電話等の計時機能を使用することはできません(机の上に置くこともできません)。
- ・試験室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
- ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種に関わらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身につけずに、かばん等にしまってください。
- ・アラームの解除方法が分からない人や電源の切り方が分からない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

11. 試験場

大分大学旦野原キャンパス（大分市大字旦野原700番地）

※試験当日、自動車等で来学する場合は係員の指示に従ってください。

大分大学^{だんのほる}旦野原キャンパス位置図



交通アクセス

〈JR利用〉

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約15分）、徒歩約15分

〈バス利用〉

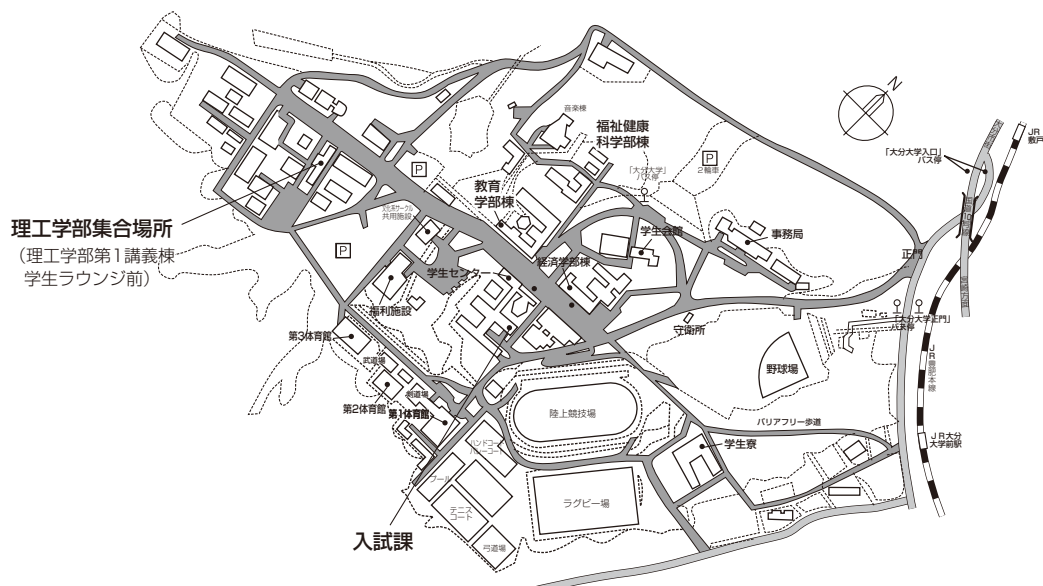
大分バス〔中央通り①のりば（トキハデパート前）〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前3番又は4番のりば〕から

○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次、白杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、理工学部まで徒歩約15分

（詳細は時刻表で確認してください。）

大分大学^{だんのほる}旦野原キャンパス案内図



12. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (ア) 出願確認票、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）
 - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

13. 合格者発表

合格者発表日時	令和6年（2024年）11月1日（金）10：00
---------	--------------------------

合格者は上記の日時に本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載します。また、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

14. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

令和6年（2024年）11月25日（月）～11月29日（金）17：00まで（必着）

入学手続は**郵送のみ**とします。

総合型選抜合格者は出願資格にて「入学することを確約できる者」となっています。

ただし、特別の事情により本学に入学できなくなった場合は、速やかに「総合型選抜入学辞退願」（A4サイズ様式任意）を大分大学長宛に提出してください。11月29日（金）までに許可された場合は入学を辞退することができます。

入学辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学（〔注〕独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）・学部の入学許可は得られません。

11月29日（金）17：00までに入学手続を完了しないときは、本学の総合型選抜合格者としての権利を消失します。

〔注〕公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

（2）入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金（貸与奨学金ではありません）の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください。また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります（最大6か月）。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除となります。また、本学独自の授業料融資制度があります。詳細については学生・留学生支援課奨学支援係（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金（貸与奨学金ではありません）の予約候補者又は入学料の徴収猶予を申請される方は入学料を払い込まずに入学手続期間に合格通知とともに送られてくる書類の指示に従って必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

15. 学校推薦型選抜及び一般選抜への出願

総合型選抜志願者が不合格となった場合は、学校推薦型選抜及び一般選抜に出願することができます。

16. 入学試験個人成績の開示

本学では、総合型選抜個人成績については、第2次選考試験の結果のみ受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

（1）開示請求者

本学が実施した令和7年度（2025年度）理工学部総合型選抜を受験した者

（2）開示請求の方法

インターネット出願システム上で、出願登録時に「入試成績の開示請求」の欄を「請求する」と選択してください。

※総合型選抜個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

（3）開示請求期間

令和6年（2024年）8月26日（月）～9月6日（金）17：00まで

（4）開示内容

開示内容は、次のとおりとします。ただし、「最高点・最低点及び平均点」については、合格者が

10名以内の場合は不開示とします。

本学入学試験成績

【理工学部総合型選抜】

合格者・不合格者（共通）：総得点及び科目ごとの得点、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

(5) 開示期間

令和7年（2025年）6月2日（月）～6月30日（月）

(6) 開示の方法

入学試験個人成績開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、入学試験個人成績を確認できます。詳細は令和7年5月中旬ごろに本学ホームページに掲載します。

(7) 手数料

1 選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

(8) その他の注意事項

- (ア) 開示請求期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。
- (イ) 郵送、電話、メール及び本学入試課窓口での開示請求は受け付けません。
- (ウ) 既納の手数料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・入学検定料と手数料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ・入学検定料と手数料を誤って二重に払い込んだ場合

17. 高大接続学習

合格者には、入学までの間、本学から学習課題を課します。

この学習課題は、大学入学後の学習をスムーズに開始できることを目的としています。

18. その他

不測の事態が発生した場合の問合せ先は、大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

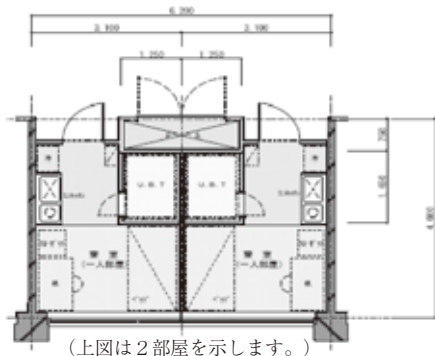
19. 大分大学学生寮のご案内（予告）

※内容は変更になる可能性があります。正式な募集内容については、本学ホームページへ掲載する募集要項をご覧ください。

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

＜学生寮の概要＞



←部屋の様子はこちらから

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

(バリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。(主に、肢体不自由のある学生用))

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

＜必要経費＞

(金額は消費税率等により変更になる可能性があります。)

居室使用料	維持管理費・水道料	インターネット使用料 (全員加入)	維持管理一時金 (退去時原形復旧費)
20,000円/月	4,000円/月	2,037円/月	26,400円/入居時

・電気料は自己負担となります。(ガスは使用しません。)

＜入寮許可期間等＞

■入寮許可期間：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

3年次編入学生…2年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

大学院生…標準修業年限（課程により2年間～4年間）

■募集人員：募集要項にてご確認ください。

＜選考区分等＞

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・ 帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	令和7年(2025年)1月27日(月)～2月12日(水)(入試出願期間とは異なりますので注意してください。)	
結果通知	令和7年(2025年)3月11日(火)	令和7年(2025年)3月24日(月)

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

＜入寮者募集要項の入手方法＞ (募集要項公表予定：令和6年(2024年)12月上旬)

本学ホームページからダウンロードしてください。(ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート)

右の二次元バーコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課学生支援係 TEL：097-554-7443 E-mail：seiksien@oita-u.ac.jp



入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだん の はる 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7471
FAX 097-554-7472
URL <https://www.oita-u.ac.jp/>